

2017年度事業報告書

特定非営利活動法人 ファミリーコミュニケーション・ラボ

I 事業期間

2017年1月1日～2017年12月31日

II 事業の成果

2017年度も不登校児童生徒を持つ母親の支援を順調に実施することができました。昨年度からの変化として

- ・学習会の会場が2拠点増えたこと。
- ・母親への心の支援を目的として、本を作り提供できたこと
- ・親の不登校理解を目的に不登校経験のある当事者に来ていただいて、話をしてもらった。
- ・地方、海外の不登校児童生徒の保護者向けにONLINEで学ぶことができる場を作ったこと

などを通じて、

- ・母親の子ども理解、不登校理解を深め、状態受容までを円滑に進めること。
- ・その事により、父親も不登校を肯定的にとらえ、夫婦間の関係を肯定的にする事。
- ・また、こうした関係性の変容と同時に、親たちは自らの生き方を振り返り、新たな自立の道を模索し「自己変容」を促す機能を果たしている。

III 事業の実施状況

(1) (事業名) 各支部傾聴サークル と ランチ会・お茶会

(内 容) 傾聴サークルでは 不登校児童生徒を持つ母親を対象に、子どもへの接し方の基本として傾聴をトレーニングします。ランチ会は、相談先や医療機関、進学先などの情報交換の場の役割を果たします。各支部の申し込みは、毎回、参加受付後数日で定員となり、会場の増設の必要を感じています。又 東京には東北から。大阪へは中国、四国地方からの参加もあり、地方開催の必要性も感じています。

(実施場所) 大阪市天王寺区民センターをはじめとする各支部の最寄り施設の会議室。

(実施日時) 各支部とも2か月に1度

(事業の対象者) 不登校児童生徒を持つ母親

(収 入) ¥964,300

(支 出) ¥754,228

(2) (事業名) 各支部の参加者が共に学び、親睦を深め、且つ、親だけでなく教育関係者にも不登校に関する知識を提供し、社会変革にもつながる事業

(内 容) 通常、掲示板で親睦を深めている仲間が、地方在住者も含め、集い、また、親だけではなく教育関係者にも参加の枠を広げ不登校に関する学びを深める事業。日頃、家にいる子どもの相手をして、家から出ることが難しい母親の背中を少し押し、子離れと母親の自立、ストレスコントロールを目的とした事業でもある。

(実施場所) 東京ボランティア市民活動センター 他 名古屋、岡山会場でも実施

(実施日時) 2017年1月29日 10:00~12:00
2017年6月11日 13:30~16:00
2017年7月01日 10:00~12:00
2017年11月25日 13:30~16:30

(事業の対象者) 不登校児童生徒を持つ親、教育関係者

(収入) ¥434,500

(支出) ¥343,880

IV 社員総会の開催状況

第1回通常総会

(日時) 2017年3月3日 13時30分~16時
(場所) YMCA アジア青少年センター
(社員総数) 22名
(出席者数) 22 (うち委任状出席者12名、書面表決者0名)

V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会の開催実績はありません。